

ごあいさつ

志をつなぎ 未来を築く

代表取締役社長 大越 雄司



2026年3月、(株)松本組は創業100周年という大きな節目を迎えることができました。この長きにわたり事業を継続してこられたのは、創業以来、いかなる時代においても現場第一主義を貫き、技術と信頼を愚直に積み重ねてこられた先人の努力と覚悟の賜物であります。まずはその歩みに対し、深い敬意と心からの感謝を申し上げます。また、長年にわたり支えてくださった発注者様、協力会社の皆様、地域の皆様、お取引先各位のご支援、お力添えに厚く御礼申し上げます。

建設業界は今、担い手不足への対応、生産性向上、働き方改革、そして脱炭素社会の実現等、大きな変革期にあります。これらの課題に真正面から向き合うことこそ、100年企業の責任です。当社ではICT施工の導入やDX推進による現場の効率化を進めるとともに、カーボンニュートラルを見据えた施工体制の構築にも取り組んでおります。守るべき技術は確実に継承しながら、新たな技術には果敢に挑戦する。その両立が次の時代を切り拓く鍵であると信じています。

次の100年を創るのはこれからの若い世代です。彼らには誇りと志を持ち、失敗を恐れず挑戦してほしい。私たちはその挑戦を全力で支え、人づくりを通じて業界と地域の未来に貢献してまいります。

100年は通過点。地域とともに、より強く、より持続可能な建設業の姿を追求し続けます。

沿革

- 大正15年 創業者・松本万司氏が札幌にて土木事業の道に
- 昭和116年 松本工業所創立。函館市に本社を置く
- 昭和22年 株式会社へ改組。資本金100万円
- 昭和43年 函館市吉川町に本社新社屋完成。鉄筋3階建て
- 昭和47年 札幌出張所を札幌支店に
- 昭和51年 資本金1億円に
- 昭和56年 北海道開発局の一般土木格付けA級に昇格
- 平成3年 本社社屋を増築
- 平成11年 I S O 9001を認証取得
- 平成22年 O H S A S 18001を認証取得
- 平成26年 I S O 14001を認証取得
- 令和2年 株式会社シンオシマと経営統合
- 令和8年 創業100周年

会社概要

株式会社 松本組 (株式会社 登寿ホールディングス グループ)
代表取締役社長 大越 雄司

- 【本社】 〒040-0077
北海道函館市吉川町4番30号
TEL 0138-42-7131
- 【札幌支店】 〒001-0014
北海道札幌市北区北14条西3丁目2番12号
寿ビル3階
TEL 011-757-8181
- 【月形本店】 〒061-0511
北海道樺戸郡月形町字階案町1561番地1
TEL 0126-53-2011



函館漁港。明治32年の石積み岸壁を復元



トンネルの実績は50本超。写真は現在
施工中の229号乙部町鳥山トンネル



函館市地域交流まちづくりセンター。
最新技術で耐震補強



地域の町会と連携し消火訓練

株式会社 登寿ホールディングス グループ 1926 → 2026 →

株式会社 松本組 創業100周年



同社の起源は1926年。創業者の松本万司氏が大分県から来道し、札幌にて土木事業に就いたこと始まる。戦前、戦後の激動の時代、函館トックの防空トンネル、旧国鉄戸井線のトンネル、夕張発電所改築などを請負い、建設業として確固たる基盤を築いていった。
1950年、北海道開港法が制定され、本道における開発事業が本格化。同社は道を拓き、トンネルを掘り、橋を架け、港を築き、社会資本整備に全力を傾注。地域発展の礎となる数多くの事業に携わり、万、高度経済成長期に入る。一層の安全対策の推進、技術力の向上と、建設業の近代化にもいち早く取り組んできた。
せたと町瀬棚区を走る国道229号。地元ではかつて地域の困道を「松本道路」と称した時代があった。日本海に面した海岸線は急カーブが連

今、未来へ、新しい技術を追求して

続し急増する交通の難所。多くの建設企業が道路整備に携わる中、同社がその先陣を切るように難工事に挑戦し続けたからだ。
檜山と後志を結ぶ瀬棚区内の交通環境は1960～1970年代に建設された国道トンネルによる激変。「松本道路」には、地域の安全・安心の確保に尽力した同社への感謝の思いが込められている。
同社が施工したトンネルは50本を超え、徳島と檜山を結ぶ27号は渡島半島を横断する大動脈。その峠部、中山トンネル(1962年開通)、新山トンネル(2003年開通)、2代にわたる新旧2本のトンネルは共に同社が施工した。
同社の工事実績はトンネルをはじめとする道路事業に止まらない。港湾、漁港整備事業においては、国内初の島式漁港として知られる函館漁港を施工したほか、明石期に建設された函館漁港石積み岸壁の修復に取り組み、先進的な施工実績は高く評価されている。
土木工事においては、河川整備や治山工事等、防災対策工事の推進に努め、農業基盤整備も担当。また、

(株)松本組(函館、大越雄司社長)は本年、創業100周年の大きな節目を迎えた。これまで50本を超えるトンネル建設工事を行うなど、地域の振興・発展に欠かせない様々な社会資本整備に取り組みしてきた。また社会貢献活動、快適な職場環境づくりにも尽力。次の100年を見据え「今、未来へ、新しい技術を追求して」をスローガンに掲げ、地域に密着した企業としてさらなる成長を目指す。

地域とともに 尽きぬ情熱

道路の維持・除雪事業、道路施設の維持補修工事にも注力している。建設部門の工事実績も豊富だ。商施設など、その実績は幅広い。函館市西部地区の歴史的建物の耐震補強を実施するなど、手掛けた仕事には、地域のランドマークとなる建物が少なくない。
同社は、次の100年を見据え「今、未来へ、新しい技術を追求して」をスローガンに掲げる。大正昭和、平成、令和と、4つの時代を歩み、次々に継承していくとともに、技術革新が進む時代にあって、常に最新の技術を学び、習得し、力としていく。確固たる決意を示す。そこには100年企業としての誇りを胸に、次代



函館市の本社。地域の防災拠点の役割も担う

を担う人材育成への責務も示す。地域に密着した企業として、また地域に必要とされる企業として同社は近年、iConstructive、on、BIM/CI技術等を積極的に導入。技術士や1級建築士、1級土木施工管理技士など27種の資格を有する社員は延べ200人を超えている。
さらに一人ひとりの技術力向上と共に、労働安全衛生マネジメントシステムISO45001、品質マネジメントシステムISO9001、環境マネジメントシステムISO14001、若者の採用・育成に努めるユニバーサル認定を取得。信頼されるものづくり、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。